

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンクテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

DECEMBER 2023

93

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長 服部 真
社長執行役員

● LINTEC ESSAY

お料理大好き
平野 レミ

第130期
(2024年3月期)
第2四半期
決算情報

証券コード:7966



りしりさん
利尻山 (1,721m、北海道)

株主・投資家の皆様とまだ見ぬ高みを目指すという想いを込め、今年度の当誌では日本百名山の風景を表紙としています。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長 服部 真
社長執行役員

4 トピックス

6 LINTEC ESSAY

お料理大好き 平野 レミ

8 アンケート結果のご報告

9 2023年度 新聞広告シリーズ

10 決算情報

12 セグメント情報

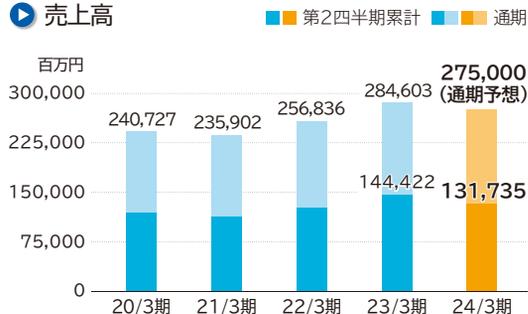
15 株式情報

(免責事項)

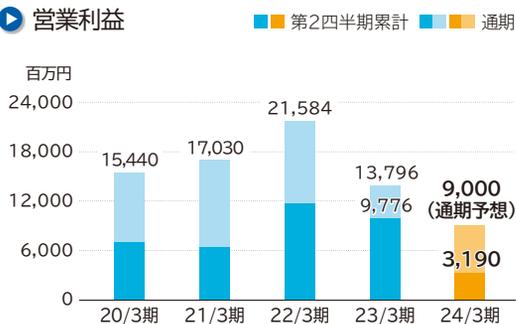
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

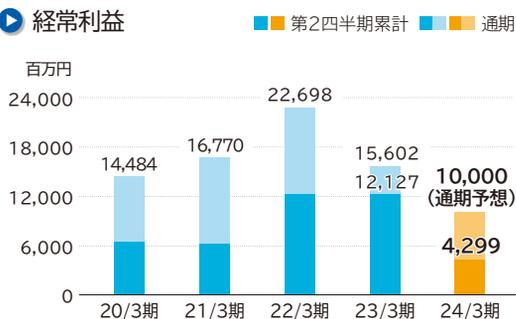
売上高



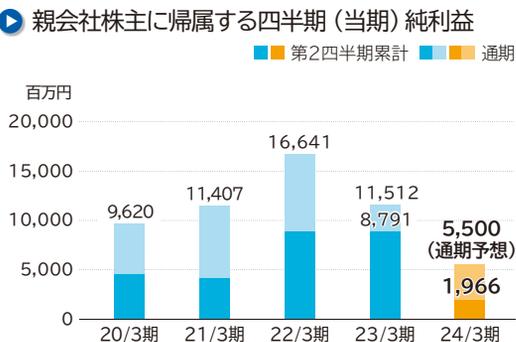
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



株主・投資家の皆様へ

▶2024年3月期第2四半期連結累計期間(前年同期比)

売上高

131,735百万円 (8.8%減)

営業利益

3,190百万円 (67.4%減)

経常利益

4,299百万円 (64.5%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益

1,966百万円 (77.6%減)



はっとり まこと
代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績は、価格改定や円安による押し上げ効果があったものの、電子・光学関連製品がスマートフォンやテレビなどのエレクトロニクス関連市場低迷の影響を大きく受けました。さらに、ほかの製品についても国内や米国において需要回復の遅れの影響を受け、受注減少による生産設備の稼働率低下に伴う操業損失が増加するなどした結果、減収減益とな

りました。

秋口以降、全般的に受注は回復傾向にあります。当社グループを取り巻く事業環境は極めて厳しい状況が続くと予想されます。2024年4月にスタートする次期3か年中期経営計画「LSV 2030 - Stage 2」に向けて、引き続き新事業の創出や成長事業の生産能力増強、事業ポートフォリオの最適化の検討などを推し進め業績向上に努めてまいります。株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

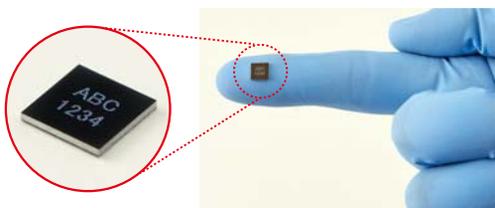
	2024年3月期通期連結業績予想		2023年3月期
	当初予想	修正予想(増減率)	実績
売上高	2,900億円 ▶	2,750億円 (5.2%減)	2,846億03百万円
営業利益	135億円 ▶	90億円 (33.3%減)	137億96百万円
経常利益	135億円 ▶	100億円 (25.9%減)	156億02百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	95億円 ▶	55億円 (42.1%減)	115億12百万円

半導体の偽造防止技術確立に向けて国家プロジェクトに参画

現在、半導体の需給バランスの崩れや用途の拡大に伴い、偽造半導体問題が深刻化しています。偽造品はセキュリティ上、重大なリスクをもたらすだけでなく、国の安全保障にも関わります。世界的にも重要な課題となる中で、当社では内閣府や経済産業省などが推進する国家プロジェクトの一環として「NEDO*」が公募する半導体の偽造防止技術確立に向けた研究開発事業に参画することになりました。当社独自製品である「チップ裏面保護テープ」上に特殊なインクジェット印刷などを施すことで、固有の特徴を持たせ、半導体チップの真正性を保証します。この偽造防止技術開発については、産官学が連携し共同で取り組んでいきます。



チップ裏面保護テープ



半導体チップに意図的にランダム性を持たせた特殊印刷 (ID付与)などを施すことで真正性を保証

*NEDO：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

当社環境配慮ラベル素材が業界の国際的な賞を受賞

ラベル業界の総合国際展示会である英国・ターサス社主催の「ラベルエキスポヨーロッパ2023」において、当社製品がラベルインダストリーグローバルアワード2023のイノベーションアワードを獲得しました。受賞製品はポリエステル系粘着剤を使用し、ラベル材料全体がPET製容器と同質同素材であるため、容器のリサイクル効率向上に貢献します。当社製品の受賞は、再生PETフィルムを使用したラベル素材(2015年に受賞)に続く2回目となります。引き続き国内外のお客様に評価される新製品の開発・提供に努めてまいります。



授与されたトロフィーと受賞製品の展示

環境意識の高まりや脱プラスチック需要に応える新たな特殊機能紙を開発・販売

当社では独自の抄紙技術を生かして、フライドチキンなどを包む紙として使用される耐油紙を製造・販売しています。昨今のコロナ禍による食品のテイクアウト需要やプラスチック製容器から紙製容器への切り替えといった脱プラスチック需要などを背景に耐油紙のニーズが増えています。さらに、環境意識の高まりから、フッ素樹脂を使用せずに耐油性を持たせた製品を新たに開発しました。印刷や加工適性にも優れ、ファストフード店やコンビニエンスストアで使用される各種食品包材のほか、カップや敷き紙などの用途に向けて拡販を図っていきます。



当社耐油紙は油が染み出しにくい機能を有しながら紙ならではの通気性を保持しているため、食品を包んだ後も水蒸気を外へ逃がすことができ、“できたてのおいしさ”を長く保つことが可能

プラスチック容器のリサイクルを促進するラベル素材の新アイテムを発売

当社はプラスチック容器回収後の洗浄工程できれいに剥がれて、効率的に回収・除去できるラベル素材を発売しました。2022年4月に施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラ新法)」ではペットボトルだけでなく、弁当や総菜などのプラスチック容器のリサイクルも進めることが求められ、容器に直接貼られているラベルはリサイクルを阻害する要因となっていました。新製品のポリプロピレン(PP)系合成紙タイプはプラスチックの多くを占めるPET製容器への使用を想定し、PPは水に浮きPETは沈むという比重分離の特性を生かし、容器を粉碎・再生処理時の効率的な回収・除去を可能にします。リサイクル促進などの需要に応えるべく、飲料や食品用の表示ラベルなど、幅広い用途に提案していきます。

